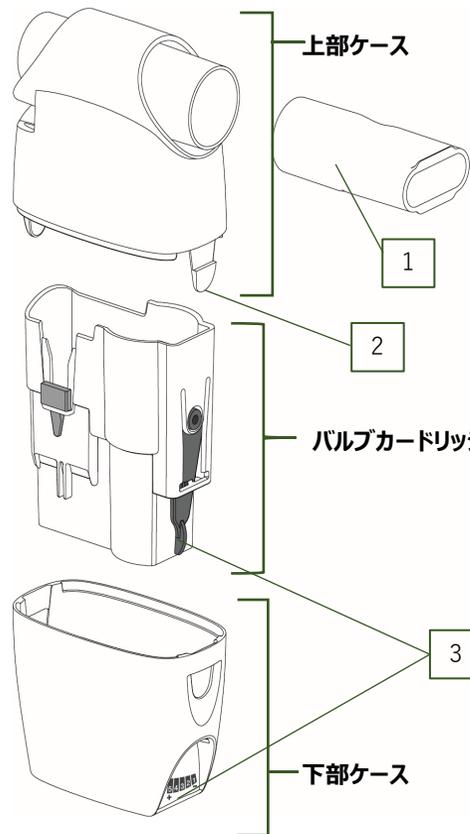


# 振動呼気陽圧療器具(OPEP) エアロビカ 取扱説明書

ご使用前に必ず同封の添付文書と併せてお読みください。



## 【各部の名称】



- 1 マウスピース
- 2 アタッチメントボタン  
→ 本体内部を開くためのボタンです。
- 3 抵抗表示器  
→ 呼気時に発生する本品の抵抗の強さを調整します。
- 4 マノメーター\*  
→ 患者への導入時の訓練器として呼気圧を確認できます。

\*「エアロビカ マノメーター付」を購入した際の付属品となります。



## 【注意事項】

- ・ お子様の手が届かない場所に保管ください。
- ・ 破損の危険があるため、本品が分解された状態でアタッチメントボタンを押さないでください。
- ・ 本品は単一患者用です。1つの機器を複数の患者で使用することは絶対におやめください。
- ・ 治療中、めまいや体調不良を催したら即座に治療を中断し、医療機関へご相談ください。

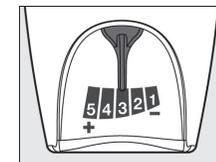
## 【使用方法】

1

### 1. 抵抗値の設定

医療従事者と相談し、適切な抵抗値を設定します。

強←-----抵抗-----→弱

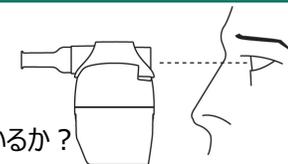


2

### 2. 機器の状態確認

使用前に、本品の状態を確認します。

- 抵抗表示器が適切な設定になっているか？
- 上部ケースと下部ケースが適切に接続されているか？



万が一、本品に不備が見つかった場合は使用を控えてください。

3

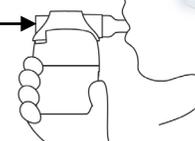
### 3. マウスピースをくわえる

マウスピースを口にくわえ、隙間が出来ないようにぴったりと唇を閉じてください。

また、その際に指などで装置背面の排気部(写真○部)をふさがないように注意してください。



ふさがない



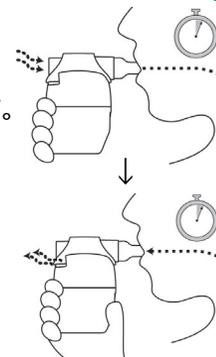
4

### 4. 息を吸って、吐く

マウスピースをくわえたまま息を吸い込み、2~3秒間息を止め、姿勢が崩れない程度に勢いよく息を吐きます。

息を吐く際、下記の点を意識してください。

- 息を吸い込むときよりも3~4倍の時間をかけてゆっくり吐くこと。
- 息を吐く際に頬が膨らまないようにすること。
- 隙間が出来ないように、ぴったりと唇を閉じること。



(裏面に続く→)

## 5. 繰り返して4を行う

医療従事者の指示を仰ぎながら、10～20回 繰り返して吸気-呼気を行ってください。また、その都度2～3回咳をし、喀痰を行い、10～20分間継続してください。

本治療は1日2回行うことを目安とし、喀痰量が多い場合は回数を増やす(1日最大4回まで)など、調整を行ってください。



### 【「マノメーター付」をお買い上げされた方へ】 マノメーターの使い方

上部ケースからマウスピースを外し、マノメーターをそれぞれの間に正面から見て右側に見えるように接続してください。

緑の範囲に内に弁が浮き続けるように吹き続けてください。  
(呼気圧 10cmH<sup>2</sup>O～ 20cmH<sup>2</sup>O)

徐々に使い慣れましたら、マノメーターを外して使用してください。



## 【洗淨と消毒、組み立て直し、保管】

### はじめに：

本品はマウスピース、上部ケース、下部ケース、また内部のバルブカードリッジの4つの部品に分解し、洗淨が可能です。

本品の使用後は必ず洗淨し、医療従事者と相談のうえ適宜ご対応ください。

### 1. 洗淨方法

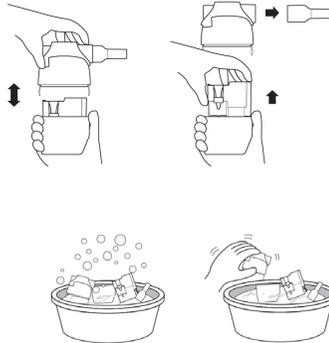
#### ① 本体の分解

- 本体側面にあるアタッチメントボタンを押し、ボタンを押したまま上部ケースを引き上げます。

#### ② 各部品の洗淨

##### A) 洗剤と水

- 液体食器用洗剤を水に溶かし、4つの部品を15分間浸した後、ゆっくりかき混ぜます。
- 水で各部品をゆすぎます。



### B) 食洗器

- 各部品を、食洗器の最上段のかごに上向きに置いて洗淨します。
- 液体食器用洗剤などを必ず使用して標準サイクルで洗淨してください。
- 乾燥機は本品に悪影響を与えますので、使用しないでください。
- 汚れが激しい食器などと一緒には洗わないようにしてください。

#### ③ 乾燥

- 水気をよく切り、完全に自然乾燥させてください。

#### ④ マノメーターの洗淨については、添付文書に記載の洗淨方法を参照してください。

## 2. 消毒方法

### ① 煮沸

- 各部品を鍋に入れ、沸騰したら5分間煮沸します。鍋の底に部品が触れないように小型のざるなどに入れると安全に煮沸が出来ます。
- 5分経過したら、お湯から各部品を取り出して、冷まします。

### ② 過酸化水素水

- 3%の過酸化水素水に30分間漬け置きをして消毒が可能です。

### ③ イソプロピルアルコール

- 70%のイソプロピルアルコールに5分間つけて消毒を行えます。

### ④ 食器用漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム等)

- 50倍に薄めた食器用漂白剤に3分漬け置きを行う形で簡易的な消毒が可能です。

②～④は消毒後蒸留水等でよくすすぎ、①～④のいずれも完全に自然乾燥させてください。

**注意！** 高圧蒸気滅菌器（オートクレーブ）の使用はしないでください。

## 3. 組み立て直し

- バルブカードリッジを下部ケースに差し込みます。上手く差し込めない場合は反対向きで再度お試しください。
- アタッチメントボタンがカチッと音がするまで上部ケースと下部ケースを組み合わせ、しっかりと接続がされているか確認します。
- マウスピースを取り付けて完了です。

## 4. 保管

直射日光を避けた場所で保管してください。

## 【廃棄について】

- 本品の廃棄に関しては自治体の廃棄ルールに従って処分してください。
- 添付文書に記載の使用期間を超えた場合、または本品が破損した場合は、廃棄のうえ新しい製品に切替えてください。